



大竹さんの春菊



穏やかな物腰の大竹さんは、自然の中にいることが好きで、休みの期間には山登りに出かけています。



いつも元気で明るい笑顔が素敵な奥様。今月で結婚33年目ということで、いつも夫婦仲良しです。



豊かな香りはもちろん、茎には甘みと旨味も詰まっているのが特徴の春菊です。

おかげさま農場は、「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

★香り豊かな今だけの旬野菜

暦の上ではもう冬で、朝晩がめっきり寒くなってきました。この時期に旬を迎えているのが、香り豊かでほのかな甘みと旨味が食欲をそそる大竹さんの春菊です。春菊は早いもので8月末に種を蒔くのですが、今年は9月の台風などで発芽したばかりの苗がやられたり、長雨で生育に多少影響がでました。しかし大竹さんが「ものはいいよ」と言うように、今年も茎の太さや葉の広がりなど見た目も美しく、生で食べられる美味しい春菊が育ちました。

そんな春菊は雨風に弱く、すぐに倒れたり曲がってしまうため、山に囲まれた風当たりが強くない畑を選んで育てています。また、寒さに弱いので例年11月末には路地の春菊は霜でやられてしまいます。そのため途中からはハウス栽培のものに切り替えます。しかし加温をしていないので12月末には終了となります。春菊は自然に沿った形で育てると、旬の時期がそれほど短い特別な野菜なのです。

今年は台風や秋の長雨などの影響で、世間では葉物はいまだに高く、春菊もとても高いようですが、今年もいつものお客さんにいつも通りに出荷をしています。「野菜は人間が作るのではなく、自分自身で育っているんだよ」という大竹さんに見守られて育った春菊を食べると、なんだかとても心が温まります。鍋に入れても、すまし汁の具にしても、またサラダやゴマ和えにしても美味しい香り豊かな大竹さんの春菊、じっくり味わってくださいね。

【産地情報】

- ◎春菊は出荷状況やにもよりますが、12月下旬に終了予定です。
- ◎サニーレタスの出荷が始まりました。